

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	897.50	2022/8/22
High	902.50	2022/8/22
Low	863.80	2022/8/26
Close	866.00	2022/8/26

円建て 円/グラム

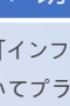
Platinum	Price	Date
Open	3946.00	2022/8/22
High	3982.00	2022/8/22
Low	3814.00	2022/8/26
Close	3828.00	2022/8/26

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2127.00	2022/8/22
High	2207.00	2022/8/26
Low	1969.00	2022/8/23
Close	2113.00	2022/8/26

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9360.00	2022/8/22
High	9704.00	2022/8/26
Low	8658.00	2022/8/24
Close	9342.00	2022/8/26



ニュースエクスプレス

米「インフレ削減法」による税控除、プラチナ価格に朗報

「インフレ削減法（The Inflation Reduction Act）は短期、中期、長期の全てにおいてプラチナとPGMの需要に寄与するだろう。」とワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのリサーチディレクター、トレバー・レイモンド氏は、ケーブルニュースチャンネルFOX Businessで語った。

同法がガソリンやディーゼル以外の燃料で走る車の需要を押し上げることになれば、プラチナやパラジウムにとっては朗報だ。ハイブリッド車の触媒コンバーターにはガソリン車よりも多くのプラチナやパラジウムが使われている。

例えば、デュアルエンジンのトヨタのプリウスには二台の触媒コンバーター装備されている。

同法にて適用される税控除には以下のようなものがある。

- 重量6.35トン以上の商業用エコカーには4万ドル、それ以下の重量の商用車の購入には7500ドルの控除。
- 5万5000ドル以下の普通乗用車エコカーの新車購入には7500ドル、SUV・ピックアップトラック・バンには8万ドルの控除。
- 所得が既婚者で15万ドル以下、あるいは世帯主で11万2500ドル以下、あるいは独身者で7万5000ドルの場合に、プラグイン電気自動車、燃料電池自動車の中古車購入で30%あるいは4万ドルの控除。

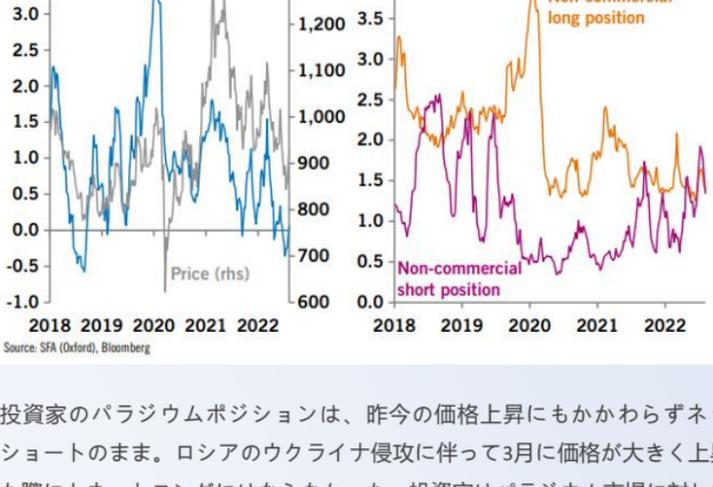
同法にはプラチナを使うグリーン水素を促進する優遇措置も含まれる。プラチナは燃料電池自動車、定置型電源、あるいは僻地の電源に使われるグリーン水素の製造に触媒として使われている。グリーン水素は太陽熱、風力、その他の再生可能エネルギーを熱源として製造される。

「インフレ削減法は脱炭素化への投資を大いに促し、特に炭素排出削減に貢献し化石燃料への依存からの脱却に役立つグリーン水素の製造と利用が進むだろう。」とレイモンド氏は語った。

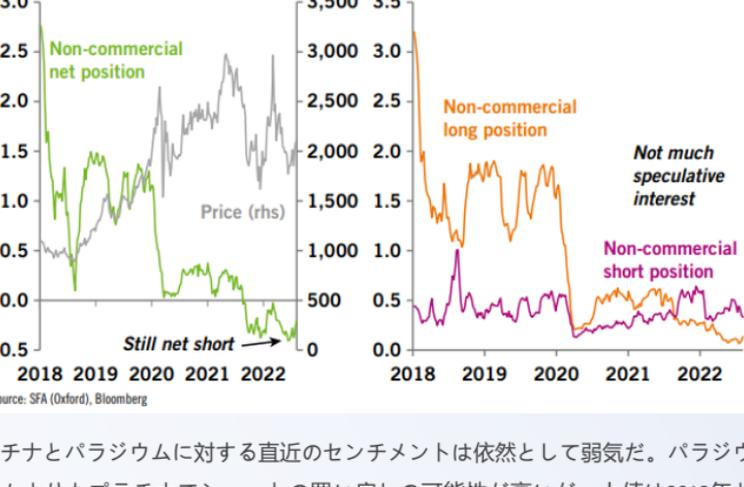
<https://www.foxbusiness.com/energy/inflation-law-tax-credits-brighten-platinum-prices>

プラチナとパラジウムに対して投資家は強気に転じているのか、あるいは弱気が和らいただけか

1カ月以上ネットショートとなっていたNYMEXのプラチナ先物の投資家のネットポジションは、8月に入ってネットロングに戻った。ランド安も手伝って価格も大きく上昇。2018年と2019年にネットショートからネットロングへ動いた際にはプラチナ価格が大きく上昇したが、投資家ポジションのショートからロングへの動きは価格上昇の動きを大きく上回った。投資家は再び2018年、2019年と同様に大量のショートポジションを持っていたため、ポジション解消が始まっている。ショートポジションはまた買い戻される余地があり、プラチナ価格は直近で再び上昇するかもしれない。ショートポジションの減少は弱気筋の減少を示しているかもしれないが、ロングポジションもショートよりはゆっくりだが、減ったため、まだ強気相場に転換したとは言えない。



投資家のパラジウムポジションは、昨今の価格上昇にもかかわらずネットショートのまま。ロシアのウクライナ侵攻に伴って3月に価格が大きく上昇した際にもネットロングにはならなかった。投資家はパラジウム市場に対して弱気相場を保ったままでは、サプライチェーン問題、バッテリー電気自動車のマーケットシェア拡大、経済見通しの悪化の見通しなどで、自動車の需要が縮小していることを考えると当然であろう。



チナとパラジウムに対する直近のセンチメントは依然として弱気だ。パラジウムよりもプラチナでショートの買い戻しの可能性が高いが、上値は2018年と2019年のように限定的だろう。中期的には、プラチナ価格の動きはランドの動きに左右されるだろう。ドル高が弱まれば、プラチナ価格は上がるはずだが、パラジウムの動きは自動車市場、特に内燃機関車の状況によるだろう。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20220822.pdf#msdnttrid=TwasutlqBR6xZjXSwHocZNBhGCVu9-RoJQPDrgECT9c

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- 上海プラチナウィーク2022は9月5日-9月7日に海外にいる方々向けオンライン参加が可能。全てのセッションで中国語と英語の同時通訳がつく。アジェンダ、及び詳細、登録（無料）方法は [こちら](https://www.shanghaiplatinumweek.com/#/events/index2022)

- 登録後、海外の参加者は Shanghai Platinum Week 2022 アプリ（Android、iOS両方に対応）にてセッションに参加できる。